

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 22日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市久米町697番地の3

氏 名 八房建設株式会社  
代表取締役 山辺 元康

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-22-6811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	八房建設株式会社
事業場の所在地	奈良県橿原市久米町697番地の3
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高538,25万円
③ 従業員数	26人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	業者に委託している。 がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石等にする。 木くず→再生業者に委託して、チップ化する。 混合廃棄物→再生業者に委託して、分別し再資源化する。 石膏ボード→再生業者に委託し、紙と石膏に分け、再資源化する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長  
↓  
各部門部長  
↓  
工事現場管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（            年度）実績】
①現状	産業廃棄物の種 排 出
	別紙に記載
	t
	(これまでに実施した取組)
	できるだけ優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。
	【目標】
②計画	産業廃棄物の種 排 出
	別紙に記載
	t
	(今後実施する予定の取組)
	できるだけ優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・木くず・混合物・廃石綿・廃プラ・石膏ボード等できる限り分別し排出する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・木くず・混合物・廃石綿・廃プラ・石膏ボード等できる限り分別し排出する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0      t	0      t
	(これまでに実施した取組)		
特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0      t	0      t
	(今後実施する予定の取組)		
特になし			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0      t	0      t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0      t	0      t
(これまでに実施した取組)			
特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0      t	0      t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0      t	0      t
(今後実施する予定の取組)			
特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)  特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)  特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙に記載	
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)  できるだけ優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙に記載	
	再生利用業者への処理委託量	別紙に記載	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
できるだけ優良認定処理業者や再生利用業者へ委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和2年度)実績量

計画:今年度(令和3年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託										
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
がれき類	2688.90	2000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2688.90	2000	0.00	0	2688.90	2000	0	0	0	0
木くず	88.52	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88.52	70	88.52	70	0.00	0	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	44.42	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44.42	40	43.35	40	1.07	0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	23.54	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23.54	20	23.54	20	0.00	0	0	0	0	0
がれき類(石綿含有産業廃棄物)	5.33	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.33	5	5.24	5	0.00	0	0	0	0	0
廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)	4.57	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.57	4	4.57	4	0.00	0	0	0	0	0
繊維くず	0.51	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.51	0.5	0.51	0.5	0.00	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0.50	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.50	0.5	0.50	0.5	0.00	0	0	0	0	0
水銀使用製品産業廃棄物	0.13	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.13	0.1	0.13	0.1	0.00	0	0	0	0	0
合計	2856.42	2140.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2856.42	2140.1	166.36	140.1	2689.97	2000	0	0	0	0